

センターだより滋賀

滋賀県立精神保健福祉センター Tel 077-567-5010
Fax 077-566-5370
〒525-0072 滋賀県草津市笠山八丁目4番25号
<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/seishinhoken/>

平成31年3月

第24号

目次

- 3月は自殺対策強化月間です……………1
- ひきこもり支援啓発講演会「プレ若者サミット2018」を開催しました！……………2
- 子ども・若者支援に関する公開講座を開催しました。……………3
- SAT-G 集団プログラムを始めました♪……………4

SAT-G 集団プログラムを始めました♪

当センターでは、ギャンブルの楽しみ方を改めたいと願う方を対象に、回復支援プログラム「SAT-Gライト」のグループでの実施を開始しました。同じギャンブルの悩みをかかえる仲間と一緒に、ギャンブルにたよらない生き方を取り戻すことを目指します。

一人で悩まずに、皆と一緒に「自分らしい生き方」を探してみませんか。あなたのご参加をこちらからお待ちしています。

○開催日：平成31年1月から毎月 **第4火曜日** 13:30～15:00
1月22日／2月26日／3月26日

○内容：SAT-Gライト（島根ギャンブル障がい回復トレーニングプログラム）
主にワークブックを用いて、自身のギャンブル問題の整理等に取り組みます。

○会場：精神保健福祉センター研修室

○対象：以下の2点を満たす方

①自身のギャンブルの楽しみ方を改めたいと願う方。

②当センターでの事前面接の結果、本プログラムを受けることが適当と認められた方。

（プログラムに初めてご参加される方は、事前面接が必要です。）

○参加費：無料

○申込み先：精神保健福祉センター 担当 後藤、平井 ([TEL:077-567-5010](tel:077-567-5010))

ひきこもり支援啓発講演会「プレ若者サミット 2018」を開催しました！

近年、社会の環境は大きく変化し、その影響を受けて、ひきこもりなど社会的に不利な状況に置かれざるをえない子ども・若者が増えています。そうした子ども・若者の支援およびひきこもりの支援は、成長発達を見とおし、年齢階層で途切れることなく継続した支援を行う「縦のネットワーク」と、関係機関・団体が有機的に連携する「横のネットワーク」を機能させ、個別の課題に応じた支援だけでなく、環境づくりも含めた総合的な支援が必要と考えられるようになっていきます。

当センターでは、そうした子ども・若者の支援およびひきこもりの支援について理解を深めるため、また、ひきこもりを経験した方たちの「今を変えたい」「変わりたい」を応援するイベントとして、平成 26 年度から「若者サミット」を開催しています。今年度は、「今を変えたい」と感じている若者や支援団体のスタッフらからなる若者サミット実行委員会が主となり、誰もが希望を持てる未来をみんなで考えたいという思いで企画し、プレ若者サミット 2018 として、「ワカモノとオトナの会おうトコロ」のテーマで、ふだんあまり聞けないお互いの本音を知り会おうというメッセージを込めて、ことば・ダンス・歌・展示・フリースペースなどさまざまな形で発信・交流の場をもちました。



平成 31 年 1 月 12 日(土) 10:00~15:00 コラボしが21

Section.1 ワカモノのホンネ

登壇者 島村 恒平 氏(あいとうふくしモール)、ReLife の若者、大学生

Section.2 いま オトナに聞きたいこと

登壇者 宮川 絵理子 氏(宮川バネ工業株式会社)

西川 興 氏(株式会社まちおこし)

福永 善吾 氏(一般社団法人ばんば楽楽ファーム)

北出 篤嗣 氏(甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』)ほか

コメンテーター ひきこもりピアサポーターなどの若者

ファシリテーター 原 未来 氏(滋賀県立大学准教授)

Section.1 では、大学生、ひきこもり経験のある若者らが、“働いてないと美味しい・嬉しい・楽しいを感じてはいけない”“当てはめられたいけど、当てはめられたくない”などのテーマで、キレイにまとまらない若者たちのホンネを語りました。Section.2 では、企業のヒト、地域のヒトを招いて、“履歴書の空白どう感じる？”“学校って楽しかったですか？”など気になるけれどふだん聞けないさまざまな疑問に答えてもらいました。当日参加してくださった方には、グループワークへのご協力やたくさんの方の質問をいただき、あたたかな交流の場をもつことができました。2019年9月28日には、“本番”若者サミットを開催する予定です。ぜひたくさんのご参加をお待ちしています。

“本番”若者サミット

2019.9.28(土) 開催予定!

子ども・若者支援に関する公開講座を開催しました。

県子ども若者総合相談窓口（ひきこもり支援センター）は、県子ども・若者地域支援協議会の調整機関として、社会的に不利な状況に置かれた子ども・若者に理解のある地域づくりに取り組んでいます。今年度は、様々な生きづらさを抱えた子ども・若者の社会的孤立に関連するテーマで、子ども・若者支援に関する公開講座を以下のとおりに開催しました（内閣府子ども・若者支援地域ネットワーク強化推進事業）。

① 第1回：子ども・若者支援の意義／居場所づくり

【実施日】平成30年10月19日

【講師】早稲田大学文化構想学部 准教授 阿比留久美 氏 【参加人数】33名

② 第2回：インターネット依存への医療的対応

【実施日】平成30年11月13日

【講師】大阪市立大学大学院医学研究科 神経精神医学 講師 片上素久 氏 【参加人数】53名

③ 第3回：若者の生活困窮と地域の課題／子どもの貧困

【実施日】平成30年11月16日

【講師】NPO 法人さいたまユースサポートネット 代表 青砥恭 氏 【参加人数】34名

④ 第4回：発達障害の理解と支援

【実施日】平成30年12月9日

【講師】山口大学医学部小児科 臨床教授 林隆 氏 【参加人数】68名

昨年度よりも参加して下さった人数が増えたことに加え、様々な分野、特に教育領域の方が増えました。講義だけでなく質疑応答の時間を取りましたが、みなさん熱心で議論が白熱しました。滋賀県の子ども若者支援のさらなる展開につながる期待が高まりました。

県子ども・若者総合相談窓口では県内在住の小学生以上の子ども・若者についての相談に応じています。相談の流れを以下に表しました。相談は、完全予約制（電話 077-567-5058）で毎月曜日から金曜日の午前9時から午後4時までです（祝祭日、年末・年始を除きます）。



あなたの話を聴かせてください

自殺対策強化月間について

3月は、自殺対策強化月間です。自殺総合対策大綱には、国、地方公共団体、関係団体及び民間団体等が連携して啓発活動を推進し、併せて、啓発活動によって援助を求めるに至った悩みを抱えた人が必要な支援を受けられるよう、支援策を重点的に実施すると定められています。

当センターでは、この自殺対策強化月間に合わせて、保健所・各市町・医療機関・大学・図書館・自動車教習所などの他、様々な機関と連携し、「話してくださいあなたの悩み」（相談機関一覧）の啓発等を行っております。

また、ゲートキーパーの普及にも努めています。ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。たくさんの方にゲートキーパーについて知っていただきたいと考えています。

さらに、家族や身近な人を自死で亡くされた方に必要な情報が届くように、自死に関する情報の周知も行っています。自死は、残された人たちに、極度の心的ストレスと、法的・経済的な負担のリスク等があると言われていています。一人の自死は少なくとも周囲5人～10人に深刻な影響を与えとも言われており、滋賀県内でも毎年、1,000人～2,000人おられると推測されます。中長期的に支援が必要な方もおられ、滋賀県では「凧の会おうみ」という団体が分かち合いの会を行っています。

凧（なぎ）の会おうみ（自死遺族の会）

活動：大切な人を自死で亡くした遺族が悲しみや自責の念、怒りなどの様々な思いを語り合う「分かち合い」を行っています

開催日時：毎月第3土曜日 13時30分～受付開始
14時00分～分かち合い
15時30分～雑談タイム（休憩）
16時00分 終了

参加費：300円（事務費などに充当します）

開催場所：アクティ近江八幡 2F

※事前申し込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。

※会場には「凧の会おうみ」でご案内しています。自死、自殺という文字は使用していません。

こころの健康相談統一ダイヤル

おこなおう まもろうよ こころ

0570-064-556 （有料）

相談対応曜日・時間は都道府県によって異なります。

SNS相談事業

厚生労働省 SNS相談 検索

よりそいホットライン 24時間対応

フリーダイヤル つなぐ ささえる

0120-279-338 （無料）

FAXでの相談の方 **FAX 03-3868-3811**

岩手県・宮城県・福島県内からおかけの方
ガイダンスで専門的な対応も選べます。（外線料金含む）

フリーダイヤル つなぐ つつろ

0120-279-226 （有料）

IP電話及びLINE OUT
からおかけの方 **050-3655-0279** （有料）

支援情報検索サイト 電話、メール、SNSなど様々な方法の
相談窓口をご紹介します。

支援情報検索サイト 検索

いつでも
だれでも
どこでも

変化に気づく

じっくりと
耳を傾ける

支援先に
つなげる

温かく見守る